

## 第28回広島矯正管区教誨師研修会

- 1 実施年月日 令和元年6月27日(木)
- 2 会 場 浜田市 浜田ワシントンホテルプラザ
- 3 参加者 教誨師 54名 矯正施設関係者 42名 その他関係者 5名  
計 101名

- 4 主 題 「安らぎの心を求めて」  
副 題 「心の居場所を与える教誨」

- 5 講 演  
島根あさひ社会復帰促進センター  
SSJ(株)社会復帰支援部心理職  
福田 恵子 氏  
高田 勉 氏

「葛藤の語りによる変容」

～回復共同体(TC)の取り組みを通じて～

社会福祉法人いわみ福社会理事長

室崎 富恵 氏

「地域共生社会の実現にむけて」

～我が事・丸ごとの地域づくり～

### 6 研修成果

本研修会において、広島矯正管区教誨師連盟に所属する教誨師及び広島矯正管区管内の矯正施設関係者が一堂に会し、「安らぎの心を求めて」という研修会の主題の下に、「心の居場所を与える教誨」という副題を掲げ、被収容者自身の更生に向けた過程において、宗教教誨の存在が、彼らの心の居場所となるための在り方について学んだ。

基調講演では、島根あさひ社会復帰促進センターにおいて民間職員として勤務し、各種教育プログラムに携わっておられる福永恵子氏及び高田勉氏により、「葛藤の語りによる変容」と題し、全国でも例のない回復共同体(TC)プログラムの実施状況とその意義について紹介され、中でも、同プログラムを受講する被収容者が、その受講過程において、同衆の前で自身の作文を発表したことによって、その後の本人の心情の変化、また、周囲の対応の変化等、実例を用いて心情の変容を考察された講演は非常に興味深く、アンケート調査でも非常に有意義であった旨の回答が多かった。

記念講演では、講師に社会福祉法人いわみ福社会理事長室崎富恵氏を迎え、「地域共生



社会の実現にむけて」と題し、福祉の視点から、知的障害者が罪を犯すにいたる生活環境や背景について、事例を交えながら講演され、コミュニティーが崩壊した現代社会においては、地域社会の支えなくして障害者の行き場はなく、彼らとの共生には、誰もが「我が事」として目を向けることが肝要であり、このことは、矯正施設からの出所者に対しても同様であり、彼らの社会復帰を支えるためには、犯罪に関与しない、繰り返さない環境づくりを、地域全体で取り組むべきであると強く訴えられた。

以上のとおり、他の分野で活動されている方の知見を学ぶことにより、教誨師はもちろん、参加した矯正施設職員も、今後の被収容者との向き合い方や、更生に向けた取組みについて考えを深めることができた。

教誨を通じて、被収容者一人一人に生きることを感じさせるとともに、彼らに「居場所」を与える取組みに対して、教誨活動が果たすべき役割を再認識する有意義な研修会であった。